

2025年3月3日

各位

三井住友トラストグループ株式会社

「第4回日経統合報告書アワード」にて3年連続で優秀賞を受賞

三井住友トラストグループ株式会社(取締役執行役社長(CEO):高倉 透、以下「当社」)は、日本経済新聞社が主催する「第4回日経統合報告書アワード」において、優秀賞を受賞しましたのでお知らせします。なお、今回で3年連続の受賞となります。

「日経統合報告書アワード」は、日本企業の発行するアニュアルレポートの更なる充実と普及を目的に1998年から実施されている「日経アニュアルレポートアワード」が2021年度に改称されたものです。現役のファンドマネージャーやアナリストの方々が、応募企業のアニュアルレポート・統合報告書を複数の項目別に審査し、特に優れたものを表彰する取り組みです。

「日経統合報告書アワード」として第4回目となる2024年度は496社が参加し、その中から総合グランプリ3社、ESGグランプリ4社、準グランプリ6社、新人賞1社、および優秀賞46社が選出されました。

当社は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに、新たな価値を創造する取り組みやガバナンス高度化の取り組みなどを広くご理解いただくために、2017年より統合報告書を発行しています。2024年版では、創業100年を迎え、今までの歴史やこれからの100年に向けた挑戦について特集ページを設けました。また、重要課題(マテリアリティ)の定義や特定プロセス、信託グループの特徴を活かした成長戦略、人的資本やガバナンスなどのESGに関する記載を充実させました。今回の審査においても、これらの取り組みを分かりやすく伝えている点が、高く評価されました。

今後も統合報告書の更なる充実・改善に取り組み、ステークホルダーの皆さまが当グループの取り組みをご理解いただくためのコミュニケーションを活性化していくとともに、公正でタイムリーな情報開示に努め、企業価値向上を実現してまいります。

以上

(ご参考)

三井住友トラストグループ 統合報告書 2024 ディスクロージャー誌
本編

<https://www.smtg.jp/-/media/tg/investors/disclosure/2023/all1.pdf>

